あなたと議会の情報ネットワーク

おおぞら21

熊本県・みふね町議会

No.183
11月議会
R4.12

442年ぶりの天体ショー
皆既月食×天王星食（11月8日）

→くわしくは裏表紙へ

総務文教常任委員会視察研修

11月10日　長崎市恐竜博物館（長崎のもざき恐竜パーク）
11月11日　長崎歴史文化博物館

1日目 指定管理制度で地域振興を促進

総務文教常任委員会 委員長　**清水　聖**

国内初のティラノサウルス化石発見

昭和37年6月28日に高島炭鉱にて地下900mから恐竜トラコドンの化石が発見され、平成16年5月から平成27年7月までにティラノサウルス科大型種の化石が国内で初めて発見されたことが、博物館設立の背景にある。また、令和3年度の発掘化石標本数270点のうち、15点が恐竜化石であり、本市3例目となるティラノサウルス科の化石発見もあったとのこと。

指定管理制度の導入

平成29年2月、野母崎地区に博物館の建設が決定。基本構想計画策定、条例等策定等を経て、令和2年4月に着工し、令和3年3月に竣工した。その後、令和3年5月に指定管理者を決定し、指定管理者である民間企業の運営のもと同年10月に開館した。

指定管理制度を導入したことで、民間のノウハウを活用した企画運営による野母崎地区全体の魅力発信が期待できる。それに加え、市民サービスの向上、行政コストの削減等の効果もある。

見込みを大きく上回った成果

入場者数は建設時の来館者見込みが年間12万人だったのに対し、令和4年10月までの約1年間で約27万人と、新型コロナ感染症の影響がありながらも大幅に上回っている。利用者の満足度も、目標値70%に対して令和3年度の実績は88.6%と大きな成果を出している。

もともと、過疎化する野母崎地区を活性化し地域振興に繋げれば、との考えから計画された博物館だった。平成29年度以降、当該地区内での飲食店の新規オープンやイベント実施が増加している。

館内にはミュージアムショップや体験コーナー等があり、展示化石は学芸員が丁寧に説明してくれた。ここでしか見られない化石があったり、研究の様子をのぞき見たりできる。展示室の窓からは軍艦島が臨め、2階にある全長６mの復元ロボットがリアルに動き大声で吠える様子は、まるで生きているのではないかと思わせる。大人も子どもも1日中見て、遊んで、眺めても飽きの来ない、もっと行きたい、見たい、知りたい博物館だった。

長崎市恐竜博物館前にて

リアルな復元ロボット

ミュージアムショップに並ぶ色々なお土産

2日目 歴史の流れを身近に学ぶ工夫

総務文教常任委員会 委員長　**清水　聖**

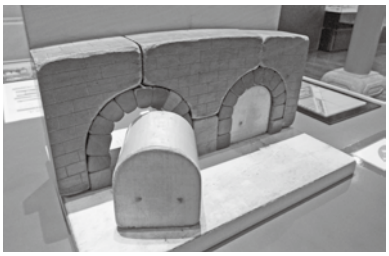
当時を再現したこだわりの外観

和風建築と近代建築が融合した外観

長崎奉行所という歴史的な建物を、江戸時代に置かれていた長崎諏訪の社に復元しているユニークな体験型博物館である。建築家、黒川紀章設計の瓦屋根と美しい白壁、立派な石垣に囲まれた復元奉行所と黒い切妻屋根の本館は和風建築と近代建築が融合していて、まさに「アート」だと感じた。建物の一部はなんと、発掘された江戸時代の物をそのまま利用しているそうだ。

歴史の流れを身近に学ぶ工夫

博物館のテーマは「近世長崎の海外交流史」。約400年に及ぶ海外交流の歴史を物語る約81000点もの貴重な歴史的資料や美術工芸品、古文書を収蔵、展示し「長崎学」の研究拠点となっている。常設展示では海外との貿易やキリスト教、朝鮮との交流など歴史を中心に長崎文化も紹介。「パズル」など五感を使って学べる体験コーナーや、「ステンドグラス」などの伝統工芸の製作体験、マルチスクリーンによる迫力映像など、長崎の歴史の流れを身近に学ぶことが出来るよう工夫されている。



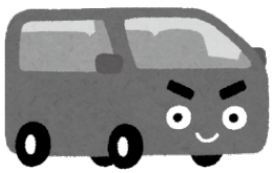
石橋の構造を学べる体験コーナー

長崎の海外交流の歴史を丁寧に解説

長崎奉行所ゾーンにある鬼瓦や建具、ふすま等が忠実に復元されたお白州では、当時の裁判の様子を再現したボランティア劇団による寸劇が大人気だという。裁判記録に当たる犯科帳や、重要文化財の踏み絵の展示もあった。

季節ごとに、さまざまな企画展やイベントを開催しているので子どもから大人まで学ぶことができる博物館だった。

宮崎県



産業厚生常任委員会視察研修

11月17日　エコクリーンプラザみやざき
11月18日　オーガニックカフェ『kiaora』及び『otafifi』

1日目　ごみ処理施設建設と地域住民の心配や不安

産業厚生常任委員会 委員長　**岩永宏介**

『エコクリーンプラザみやざき』は宮崎県中央部10市町村の一般廃棄物と産業廃棄物（割合は少ない）の処理を行うため、焼却施設、リサイクル施設、最終処分場等を一体的に整備したごみ処理施設で、開業は平成17年11月、敷地面積は473ha。令和3年から、宮崎市が運営主体となり、施設の運転管理業務等は委託契約を締結した株式会社ひむかエコサービスが行っている。以下は、私たち委員の質問（Q）への宮崎市担当課職員の答弁（A）である。

施設の説明をしてくれた皆様と委員ら

Q：ごみ施設建設をめぐって、地域住民から不安や心配の声は上がらなかったか。

A：廃棄物運搬車両の通行による事故や騒音振動等、焼却施設の排ガスによる大気汚染、最終処分場の浸出水の外部漏洩による地下水汚染等について心配の声があった。対応として、周辺環境への影響と対策について十分説明を行ない、周辺地区の廃棄物対策協議会と公害防止協定を締結するとともに、協定の遵守状況を施設管理者と地域住民の双方で確認するための環境保全委員会を設置し、定期的に活動を行なってきた。

中央コントロール室を見入る委員ら

Q；ごみ処理施設で使う水は１日どれくらいか。

A：施設全体の使用料は約171㎥（R3年実績）。宮崎市の上下水道局からの上水供給により確保している。

Q：焼却施設から出る熱エネルギーは何に活用されているか。

A：ごみ焼却時の廃熱で作った蒸気により発電を行っている。発電した電気は場内で使用し、余った電力は全量売電し、その収入は3.1億円（R3年実績）。蒸気の一部は隣接する温浴施設の熱源としても活用している。

地熱を利用した温泉施設

2日目 起業支援と移住定住が融合

産業厚生常任委員会 委員　**福永　啓**

綾町内でオーガニックカフェを経営する矢野美幸さんが、同町内で経営する間借りキッチン＆シェアイベントスペース「kiaora（キオラ）」と、移住定住支援住宅「otafifi（オタフィフィ）」の視察研修を行った。

「kiaora」は、以前同じ場所で営業していたパン屋が閉店して空きスペースになっていたところを、所有元の会社に間借り形式の運営方法や店舗デザインを提案。本年５月から業務委託を受ける形で営業が始まった。日替わりで飲食店・カフェ等の出店がされるほか、ヨガ教室や各種ワークショップなども行われ、地域のコミュニティスペースとなっている。また、ここで飲食店出店のノウハウを得ることで、すでに２店舗が町内に出店したとのことで、起業支援の役割をも果たしている。

起業支援の役割もはたすコミュニティースペース「kiaora」

移住定住支援住宅「otafifi」

「大地再生」のワークショップが行われていた

「otafifi」は、綾町に移住を考えている人が、腰を落ち着けて、物件を探せることを目的に、古民家を改装した間借り住宅で、事業資金は自己資金半分、独自のクラウドファンデング半分となっている。整備途中だが、既に沖縄から移住希望者の方が、住まわれていていた。

矢野さん自身も移住者であり、移住・定住が起業支援や町の活性化に直接つながる大変有意義な事例であると感じた。

委員会報告

創意工夫の取り組みを学ぶ

議会広報特別委員会 副委員長　**田上　忍**

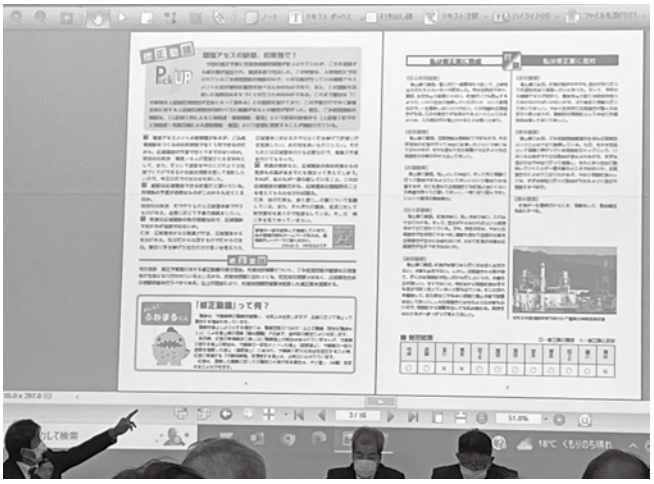
11月24日議会広報コンクール表彰式並びに研修会がグランメッセにて開催された。

「あおぞら21」は、以下のような評価を頂いた。

・中面二色刷りのところはどこも上手に網掛けを使ってすっきりして分かりやすい。
・全体的にコンパクトにまとまり、勢いを感じるが文字が太いため圧迫感を感じる。
・地元の小学生が登壇している質問写真はとても良いが関係者も座っていればもっと臨場感が出る。
・修正動議を詳しく取り上げ賛否の意見を出して詳しく説明しているが何の案件か不明確。
・討論における賛否は上手に整理されていて理解しやすい。問題となった研修先の写真掲載も好処置。

研修では上位入賞した広報誌の委員長とファシリテーターとのパネルディスカッションだった。それぞれの広報誌の工夫点や苦労した点などが紹介された。

あおぞら21は上位入賞こそできなかったが高評価を頂けた。今後も創意工夫しながら町民の皆様へ議会であったことを伝えていく。



「あおぞら 21」の記事が紹介された

編集時の意図を説明する委員長

委員会報告

執行部の意見を聴取

予算決算審査検討特別委員会 委員長　**福永　啓**

予算決算審査検討特別委員会では、11月４日の全員協議会で行った委員外議員からの意見徴収に続き、11月29日に執行部からの意見徴収を行った。また、当日は崇城大学の学生ら16名の傍聴者があった。

意見聴取には、ほぼ全課長が出席し、事前に示した予算・決算審議に係る要領案に対する質疑応答や提言等をいただいた。

委員会では、これらの意見徴収を反映させた最終案を策定し、年度末までには、予算決算審議に係る委員会設立を目指したい。

委員会終了後、学生との意見交流を行った

視察受入

11月14日

大分県杵築市議会　議会活性化特別委員会

議会運営委員会 委員長　清水　聖

杵築市議会活性化特別委員会７人と、事務局１人が研修の為本町議会を訪問した。杵築市は市町村の合併により、旧市町村議員がそのまま在職したことから46人に達した。その後平成19年に22人、平成23年に20人、平成27年に18人と削減されて以降、その後定数の見直しは行われていないとのことで、今年度議会活性化特別委員会を立ち上げた。

御船町の基本条例６条に定められている通年議会（九州初）についての質問が多かった。

・毎月開くのは大変ではないか
・一般質問はどうしているか
・議会モニターの人選はどうしているか等

その他女性議員や若手議員の担い手不足が課題だとの事。これはどこの市町村もあまり変わらないと感じる。御船町議会基本条例制定から10年以上が経過して大変だった当時を改めて振り返った。杵築市議会活性化特別委員会の発展を祈る。

11月15日

北海道白老町議会　総務文教常任委員会

「ふるさと納税の取組みについて」
行政視察のため、企画財政課コミュニティ推進係が対応した。

とどけ！あおぞら掲示板

50代　男性

井藤議員へ（「公共交通活性化で実現したい町は」に対して）
あおぞらを拝見しました。音大の通りの高齢者の方が大変みたいです。実は、京都で、近所の方が車で買い物や病院にガソリン代だけ支払う形で上手くいってるみたいです！

【回答（井藤議員）】

教えていただきありがとうございます。おっしゃる通り、中山間部に限らずバス停が近くにない「公共交通空白地」が多くあることが課題となっています。他自治体の先進事例も参考にしながら、より良い公共交通の実現のために、住民の皆さんの声をしっかり届けていきます！

令和４年10月号 ご意見ご感想より

■発行：熊本県御船町議会　■責任者：（議長）池田浩二　住所：〒861-3296 熊本県上益城郡御船町大字御船995-1　電話096-282-1386　FAX096-282-1476　メール：gikai@town.mifune.lg.jp
■議会広報編集特別委員会（委員長）井藤はづき（副委員長）田上忍　（委員）藤川博和、福永啓、森田優二、田上英司

かがやく ひと

ミフネ マイ ホーム

下辺田見
井島ワッシュバーン
パトリック

私が初めて御船町に来たのは、妻の両親に「娘さんと結婚させてください」とお願いしに来た時でした。それまで10何年以上東京に住んでいましたが、九州に来たのはこの時が初めてでした。私は、アメリカのちょうど真ん中に位置するミズーリ州で生まれ、セントルイス、ヒューストン、アトランタ、ニューヨーク、シアトルなど様々な都市で暮らしてきましたが、御船町は本当に素敵な街だと思いました。

もちろん、熊本城、阿蘇山、天草五橋、水前寺公園、通潤橋など、熊本県内の観光名所はとても素晴らしく、熊本の人たちが誇りに思うのも納得ですが、私にとっては、御船町から阿蘇山に向かう道中で見ることのできる御船の自然も、阿蘇山の「景色のとても綺麗な場所」に負けないほど、魅力的で美しいと感じました。

その後、結納、若宮神社での人前式、妻の里帰り出産、娘の誕生などの際に東京から御船を訪れましたが、環境の良さや人の暖かさに更に心惹かれていきました。子供をこんな街で育てられたらいいのに…。そんな私の気持ちを察したのか、義父が「御船町に家を建てたいのなら協力するよ」と言ってくれて、家族の協力のお陰で夢のマイホームを御船町に建てることができました。東京からの移住してきた私たちを、暖かく歓迎してくれた妻の家族や友人、近所の人たちには今もとても感謝しています。

東京に住んでいた時は、近所付き合いも希薄でしたが、御船町では娘の保育園の役員、消防団員、英語劇のボランティアなどの活動を通して、近所だけではなく町全体の人たちと交流を持つことができ、田植え、稲刈り、どんどやなどの行事では御船の自然ともより繋がることができました。

御船に住み始めてから今まで、数十人の友達にこの街を案内してきましたが、いつも町民として誇らしい気持ちで一杯です！今まで10回以上引越しをして、遠い国から移り住んできた私ですが、御船町は私にとっての「本当のマイホーム」だと思っています！

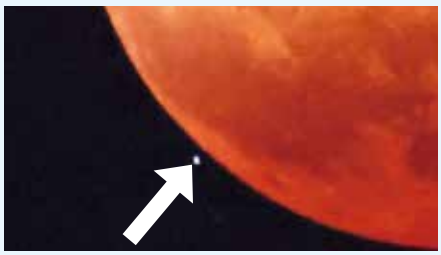
議会の予定 1月

1月6日	全員協議会 第3回議長定例会
1月26日	議会運営委員会（予定）

議会 HP はこちら

表紙のこぼれ話

表紙写真は平成音大近くにて撮影されたもの。442年前と言えば1580年。あの甲斐宗運も御船城から見ていたかも!?次に皆既月食と惑星食が同時に見れるのは322年後の2344年とのこと。



月に隠れる前の天王星

モニターコラム 風

NGKをしない、させない、議会を望む

熊野清孝さん
議会モニター

議会モニター2期目になります。何度か議会の傍聴をしてきました。

その中で気付いたことですが質疑応答の中で N：逃げる G：ごまかす K：隠すような答弁が非常に多く繰り返されて議会が進行されている気がします。

NGKの代表的な回答に〝検討します〟という言葉がありますが議会の中では頻繁に繰り返されています。民間企業では決して許されることができない言葉ですが会議中に頻繁に使用されていることが気になりました。

民間企業においての回答は5W2Hを明確にするよう要望されます。

会議は意思決定の場でありNGKを含んだ回答では決定できないからです。

町の発展のためには NGK をしない、させない議会の進行が必要不可欠かと感じましたのでこの場を借りて投稿させていただきました。

参考：5W2Hとは なぜ、いつ、誰、どこ、何、方法、予算 の意味です。